

≪連携協力の概要≫

- 関係自治体・団体等による推進体制の整備
- 国立公園・国定公園の魅力向上、只見柳津県立自然公園の国定公園編入、広域周遊の仕組みづくり等の取組の推進
- 猪苗代湖の環境保全、野生鳥獣の保護管理等、県内の環境保全の取組の推進

≪令和4年度の主な取組状況≫

- 尾瀬沼ビジターセンター及び周辺施設の再整備工事の実施
- 国立公園満喫プロジェクトの実施
 - ・ 磐梯朝日国立公園磐梯吾妻・猪苗代地域満喫プロジェクト地域協議会を2回、4つの部会を計10回開催。
 - ・ 地域プロモーション方針や自然資源の利活用方針等を策定
 - ・ ビュースポットの眺望改善や登山道補修のモデル事業を実施
- 国立環境研究所と県とで猪苗代湖の湖内水質予測モデルに関する研究に加えて、水生植物を利用した水質浄化施設に関する研究を共同で実施
- 帰還困難区域におけるイノシシ等の捕獲（計515頭を捕獲）

●尾瀬国立公園の魅力向上

尾瀬沼ビジターセンター及び周辺施設の再整備工事の実施



●広域周遊の仕組みづくり

会津トレイルを活用したツアーや国定公園内でのアクティビティイベントの開催、情報発信



令和5年度の主な取組予定

- ふくしまグリーン復興推進協議会総会等を共同で開催予定
 - ・ 各ワーキンググループを開催し、情報共有及び連携強化
- 磐梯朝日国立公園磐梯吾妻・猪苗代地域満喫プロジェクト地域協議会・部会の開催、裏磐梯ビジターセンターリニューアル工事
- ふくしまグリーン復興プロモーション、国定公園ビジターセンター整備、公園の利用促進のためのイベント等の実施
- 猪苗代湖における水生植物の効率的な回収方法の検討（湖沼水環境適正化対策モデル事業）の実施
- 帰還困難区域を含む野生鳥獣対策の継続実施 等

今後の方向性

- ふくしまグリーン復興推進協議会等を活用し、自治体、民間事業者など地域の関係者との連携強化を進め、同構想を推進
- 国立公園満喫プロジェクトにおける効果的な魅力向上策等の検討

《連携協力の概要》

- 県内における省エネルギー対策や再生可能エネルギーの一層の普及促進
- 福島県産水素の利活用
- 上記の取組を通じた未来志向のまちづくりなど地球温暖化対策に実効ある取組の推進

《令和4年度の主な取組状況》

- 「復興×脱炭素まちづくり」に係るFS事業を4件実施
- 県独自事業として「導入可能性調査」事業を創設し、2件採択（自治体2件（郡山市、川内村））
- 再エネ設備・システム導入補助事業を18件（民間）採択
- 重点対策加速化事業（地域脱炭素移行・再エネ推進交付金）の開始
- 水素ステーション整備拡大事業の実施
- 低コスト再エネ水素サプライチェーン構築・実証を継続実施
- 脱炭素×復興まちづくりプラットフォームの設立
- 福島県2050年カーボンニュートラルロードマップの策定、研修会（18回）の実施 等

●令和4年度に実施した重点対策加速化事業

オンサイトPPA方式により県環境創造センターに太陽光発電設備を設置
 設置容量：パネル506kW, PCS400kW
 想定発電電力量：453,246kWh/年
 想定CO2削減量：4,153t/20年
 電力供給期間：20年間
 運営事業者：NTTアノードエナジー(株)



県環境創造センター（三春町）

●設備導入補助の例

対象地域：南相馬市
 事業概要：(株)サンエイ海苔の工場に自家消費型の太陽光発電設備を設置



(株)サンエイ海苔第二工場

令和5年度の主な取組予定

- FS事業の公募・採択を行い、新たな調査を実施
- 「導入可能性調査」事業、自家消費型発電設備の導入支援の実施
- 水素ステーション整備拡大事業の継続実施
- 低コスト再エネ水素サプライチェーン構築・実証の継続実施
- 脱炭素×復興まちづくりプラットフォームの運営・活動の本格化
- 県内自治体等への技術的支援の実施
- 地域気候変動適応センターの設置 等

今後の方向性

- 「脱炭素×復興まちづくり」プラットフォームの場や設備導入への支援、FS調査や実証事業などを有効に活用しながら、再生可能エネルギーの導入促進や水素社会の実現、省エネルギー推進などによる、脱炭素先進モデルケースの形成を一層推進

≪連携協力の概要≫

自立・分散・ネットワーク型の社会の形成を視野に入れ、幅広い分野の環境施策において、多様な主体との連携を強化し、レジリエント（強靱）な社会のモデルとなる取組を推進

- ・ 国立公園等におけるワーケーションの促進
- ・ 復興に貢献する再生可能エネルギーの地産地消等の推進
- ・ 廃棄物の発生抑制や循環的な利用に関する取組、災害にも強い資源循環スキームの整備促進

≪令和4年度の主な取組状況≫

- 国立・国定公園において、環境保全活動や自然体験を組み合わせたワーケーションツアーを実施
- 福島県産再エネ電力利活用拡大事業の実施
- 環境省施設での福島県産再エネ電力の調達
- ごみ減量・リサイクル対策に係る取組実施状況調査の実施
- ごみ減量アイデアコンテスト（テーマ：生ごみ）の実施
- 廃棄物削減モデル事業（生ごみ処理の実証事業）の実施

●ワーケーション事業の促進

環境保全活動（猪苗代湖でのヒシの実収穫体験等）や自然体験（沼沢湖自然観察等）を組み合わせたツアーを実施。



●ごみ減量・リサイクルの推進

ごみ減量等に取り組む市町村の課題の調査。
生ごみの拠点回収・処理を実施。



業務用生ごみ処理機（堆肥化）

令和5年度の主な取組予定

- 国立・国定公園におけるワーケーションの推進
- 福島県産再エネ電力拡大事業の継続実施
- 環境省施設での福島県産再エネ調達の継続実施
- 廃棄物削減モデル事業の実施
- プラ3R実践コンテスト（仮称）の実施 等

今後の方向性

- 国立・国定公園におけるワーケーションの普及促進に取り組み、「ワーケーションの聖地ふくしま」を目指す
- 多様な主体による再エネの導入・利用促進など、自立・分散・ネットワーク型の社会の形成に向けた具体的な施策を幅広い分野で推進

≪連携協力の概要≫

- 広く県民や企業、市町村等の積極的な参画を促すため、シンポジウム等の開催や優良な取組の推奨制度の創設など多くの主体の参加を促進・誘導するための取組を行う
- 福島の復興の姿を広く県内外に発信するなど、浜通り地域をはじめ福島県の風評払拭に努める

≪令和4年度の主な取組状況≫

- シンポジウムを2回、環境イベントを1回開催
 - ・ 7/13 越後三山只見国定公園編入記念シンポジウム
 - ・ 10/13～15 第11回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア (REIFふくしま2022)
 - ×ふくしまゼロカーボンDAY！2022
 - ・ 3/12 「福島、その先の環境へ。」シンポジウム
- 学生向けのチャレンジ・アワードを実施
- 環境リブランディング「FUKUSHIMA NEXT」広告・キャンペーンの実施
- COP27ジャパン・パビリオンにおける福島県の復興に関する情報発信

●「福島、その先の環境へ。」シンポジウム

福島の復興・再生の取組を振り返るとともに、県内外の方々と福島の未来について共に考えるシンポジウムを開催。



●COP27ジャパン・パビリオンでの福島に関する展示

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興や環境再生の取組について世界に発信し、福島に対する風評払拭を図ることを目的に、国連気候変動枠組条約第27回締約国会議（COP27）にてブース展示を実施。



令和5年度の主な取組予定

- シンポジウム（3月予定）等を開催予定
- ふくしまカーボンニュートラル実現会議の設立（6月）
- 環境イベントを開催予定
- チャレンジ・アワードを継続して実施
- 「FUKUSHIMA NEXT」の公募・広告の実施
- 福島復興に関する海外向け情報発信 等

今後の方向性

- 福島の風評払拭につなげる、環境先進地域へのリブランディングを推進
- 震災・原発事故や環境再生の記憶を福島の子もたちへと継承する取組を推進
- シンポジウム等の情報発信を通じて、多くの主体の参画を促進